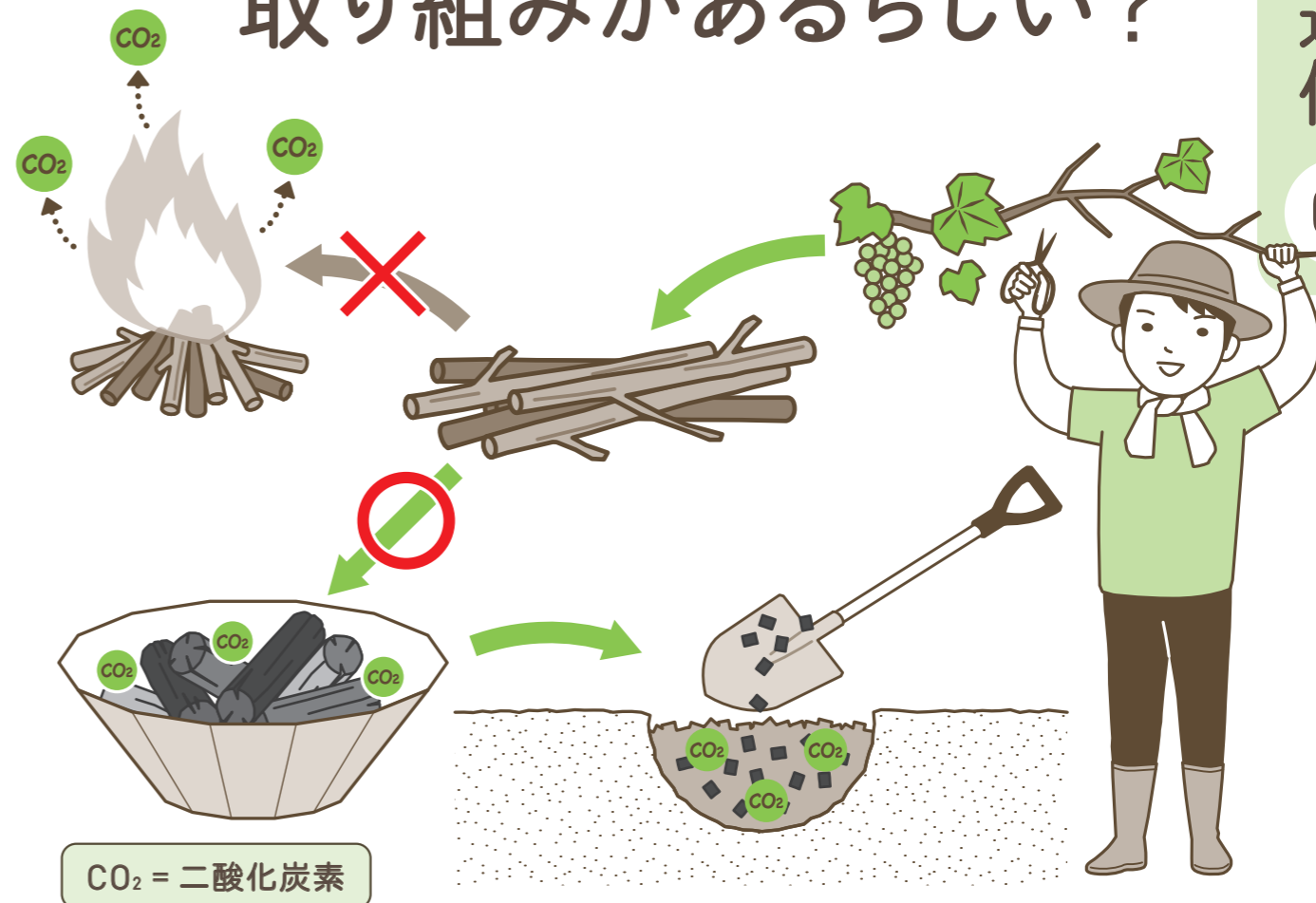


# 農業サイドから地球温暖化の抑制に貢献 果樹王国ならではの 取り組みがあるらしい？



この山梨から全国の、  
そして世界の環境を  
変えていく意気込みで  
一緒に頑張っていきたいと思います！

バイオ炭の活用法の  
研究を進めていけば  
農地が豊かに  
なると思います。

私たち若者が興味を持ち、  
情報を広めることが  
取り組みの普及に  
つながると感じました。

私が説明させて  
いただきました！



農政部長 坂内 啓二さん

山梨県は、農業サイドから地球温暖化を抑制する「4パーミル・イニシアチブ」に、日本の地方自治体として初めて参加しています。今後は、他の自治体にも積極的に呼び掛け、参加してもらうことで地球温暖化を抑制していきたいです。

### 「4パーミル・イニシアチブ」とは？

世界の土壌の炭素量を年間0.4%増加させれば、人間の経済活動によって放出される大気中の二酸化炭素を実質ゼロにできるという考えに基づいた国際的な取り組みです。令和2年9月現在489の国や国際機関が参画しています。

4% (パーミル)  
= 0.4%

CHECK!

県は、特産品のブドウやモモなどの果樹が、光合成によってCO<sub>2</sub>をたくさん吸収していることに着目しました。このCO<sub>2</sub>を炭素として土壌に閉じ込めることができれば、温室効果ガスの削減に大きく貢献することが可能だと考えたのです。まさに、果樹王国ならではの取り組み方です。そこで、県は樹形を整えるために剪定した枝を、専用の機器を使って炭（バイオ炭）にして埋める方法を考えました。剪定した枝を焼却する従来の方法では、果樹が吸収したCO<sub>2</sub>が大気中に放出されてしまうのに対し、バイオ炭にして埋める方法なら、半永久的に炭素として地中に閉じ込めることができます。それによって大気中のCO<sub>2</sub>の増加は抑えられ、さらに土壌改良の効果も期待できるそうです。この日、私たちが訪れた果樹園でも、剪定した枝をバイオ炭にする実証試験の準備が進められていました。

県では、これまでも温暖化により気温が上昇しても適応できる農産物の品種改良などを行っていたそうです。しかし、今回は環境問題と直に向き合い、農業サイドから温暖化を抑制していく、つまり適応型から抑制型への新たな取り組みに挑戦しているのです。そこには新たな付加価値の創造もあります。「4パーミル・イニシアチブ」に取り組み農園で栽培された環境に優しい果物を、山梨の新しいブランドとして認証していく取り組みも進められています。

「4パーミル・イニシアチブ」を通して温暖化を抑制するだけでなく、身近なブドウやモモなどの果物を付加価値のある特産品にすることができ、まさに果樹王国である山梨県にふさわしい取り組みです。みんなで応援していきたいですね。

ワタシたちが  
レポートを  
作成しました！



山梨英和大学 人間文化学部 人間文化学科  
4年 小林 実結さん 2年 川田 萌乃さん

地球温暖化が急速に進んでいるとニュースなどでたびたび取り上げられています。県では何か対策をしているのかな、と思い調べてみました。実はこれまではない方法で、全国に先駆けて温暖化の抑制につながる取り組みに参加していました。それが「4パーミル・イニシアチブ」です。これは、温暖化の原因になっている温室効果ガスの一つである二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の発生を抑えるために、土壌の炭素量を年間0.4%増やしていく国際的な取り組みです。

地球温暖化の抑制に向けて、山梨県ならではの対策って何かしているんですか？

「4パーミル・イニシアチブ」という、国際的な取り組みに参加し、県内の果樹園で剪定した枝を、炭（バイオ炭）にして活用する研究を進めています。

炭が温暖化の抑制に役立ってますか？

はい、バイオ炭にすることで炭素を閉じ込めることができます。地中に埋めれば土壌の改良にもつながるんですよ。

すごい！果樹王国やまなしにふさわしい画期的な取り組みですね！

ユーチューブで配信している「山梨チャンネル」でも詳しく紹介しているので、ぜひ、見てくださいね！